

# 災害時マンホールトイレの仕組み

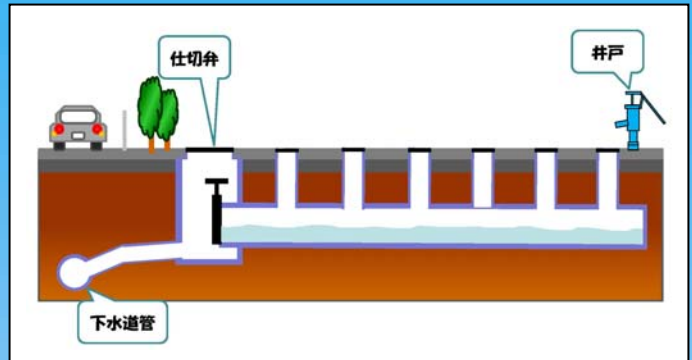
## <平常時>

マンホールトイレシステムは、土中に埋設されています。

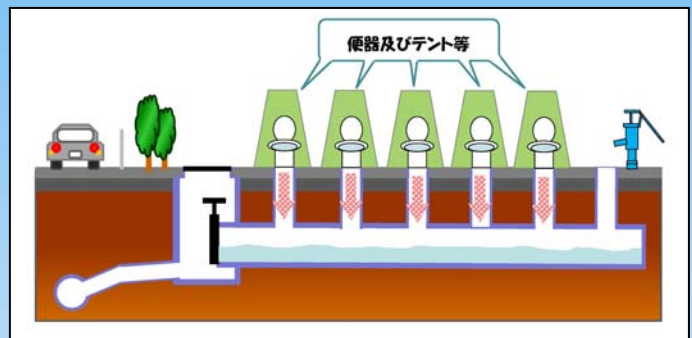
災害発生

## <発災時>

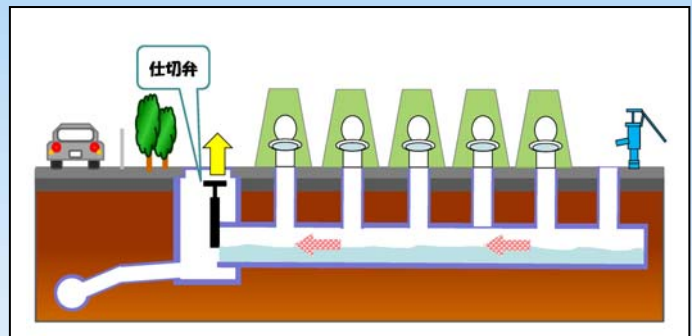
1. トイレ用のマンホール蓋を開き、便器及びテント等を設置します。マンホールトイレシステムは貯留できる構造になっており、し尿を溜めます。



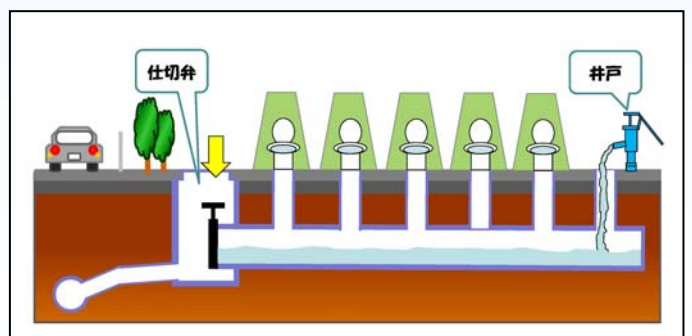
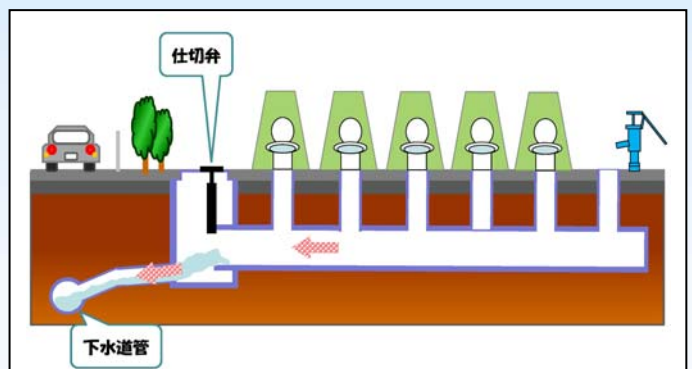
2. し尿が溜まりましたら、仕切弁用のマンホール蓋を開き、仕切弁を上げます。



3. 仕切弁を上げますと、マンホールトイレシステムに貯留したし尿が既設下水道管へ流れていきます。



4. し尿を流し終わりましたら、仕切弁を下げ、手押し井戸を活用しマンホールトイレシステムに注水します。



※接続先の下水道管渠及び下水処理場等の下水道施設が被災した場合は、仕切弁の開閉を行わず汲取式仮設トイレとして利用します。なお、貯留したし尿は汚泥吸引車等により吸引します。